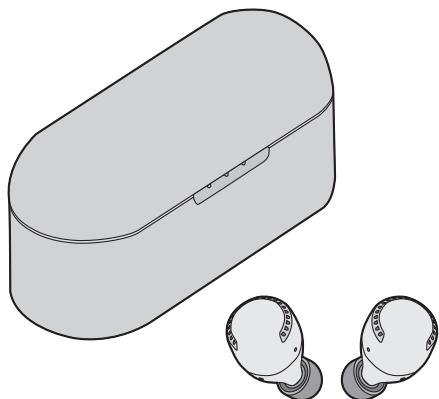


Panasonic®

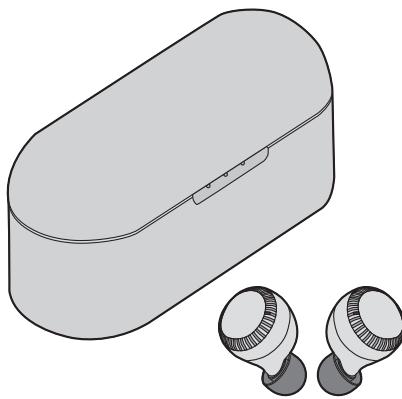
取扱説明書 < 詳細編 >

ワイヤレスステレオインサイドホン

品番 RZ-S50W
RZ-S30W



RZ-S50W



RZ-S30W

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5~8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

PNQP1546WA

本機の特長

音楽や動画音声をクリアな音で楽しめる完全ワイヤレスイヤホン

RZ-S50W 高性能ノイズキャンセリング機能

- デュアルハイブリッドノイズキャンセリング技術により、周囲の騒音を大幅に低減し、音楽や動画音声をより楽しむことができる

RZ-S50W ビームフォーミング技術による高音質送話

- 高性能 MEMS マイクによるビームフォーミングノイズリダクションで高音質な送話を実現

音楽を長時間たっぷり楽しめる

- RZ-S50W 連続 6.5 時間再生 ※1
- RZ-S50W 充電ケースの併用で合計約 19.5 時間再生可能 ※1
- RZ-S30W 連続 7.5 時間再生 ※2
- RZ-S30W 充電ケースの併用で合計約 30 時間再生可能 ※2

イヤホンを外すことなく周囲の音を確認できる外音取り込み機能

タッチセンサーで快適操作

- 再生 / 一時停止 / 曲送り / 曲戻し / 音量調節等の基本操作が可能

IPX4相当の防滴仕様（イヤホンのみ）

※1 ノイズキャンセリング ON、AAC

※2 AAC

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(→ ○○)で示しています。
- 製品のイラストは、実際と異なる場合があります。
- 本書における本体のイラストは RZ-S50W のものです。

機種名のマーク表示について

機種によって機能の相違点がある場合は、以下のマークで機種マークを表示しています。

RZ-S50W: **RZ-S50W** RZ-S30W: **RZ-S30W**

付属品



付属品をご確認ください。

- USB 充電ケーブル (1本)
- RZ-S50W** イヤーピース(S,M,L,XL 各2個)(Mはイヤホンに装着)
- RZ-S30W** イヤーピース(XS,S,M,L 各2個)(Mはイヤホンに装着)

●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品のご紹介

AC アダプター(DMW-AC9)



●2020年2月現在の品番です。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
(→ 5~8ページ)

本機の特長	2
付属品	3
別売品のご紹介	3
[重要]イヤホンの防滴について	9

準備

装着のしかた	10
イヤホンの装着方法	10
イヤーピースを選ぶ	10
各部のなまえ	11
充電する	13
USB 充電ケーブル(付属)を使ってイヤホン、充電ケースを充電する	13
充電ケースでイヤホンを充電する	14
電池残量のお知らせ	14
イヤホンの電源を入れる／切る	15
「Panasonic Audio Connect」アプリを使う	15
Bluetooth® 機器に接続する	16
イヤホンを Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する	16
登録済みの Bluetooth® 機器と接続する	16

使う

音楽を聴く	17
通話する	18
外音コントロールを使う	19
便利な機能	20
「Panasonic Audio Connect」アプリを使う	20
音声アシスタント機能を起動させる	20
片方のイヤホンのみで使う	20
タッチセンサーで操作する	21

ご参考

工場出荷設定に戻す	22
使用上のお願い	22
ご使用について	22
Bluetooth® について	23
故障かな!?	25
お手入れ	27
イヤーピースの清掃について	27
著作権など	31
仕様	32
廃棄するときのお願い	33

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
---	--



**本機（充電ケース）は、付属のUSB充電ケーブルを使い、指定の方法で充電する
指定外の方法で充電すると、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。**

 水のかかるおそれのある場所で、本機（充電ケース）、USB充電ケーブルを使わない
台所、洗濯場などで使用すると感電の原因になります。

 **本機は充電式電池を内蔵しています**
•火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
•電子レンジやオーブンなどで加熱しない
発熱・発火・破裂の原因になります。

!**警告**



異常・故障時には直ちに使用を中止する

充電ケースの充電時に異常があったときには、USB 充電ケーブルを抜く
イヤホンの充電中に異常があったときには、イヤホンを取り外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 内部や充電ケース端子部、USB 充電端子に水や異物が入ったり、付着した
- 本機や USB 充電ケーブルが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 本機に異常があるときは充電ケースからイヤホンを取り出して、販売店にご相談ください。



USB 充電ケーブルやプラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、ショートによる火災の原因になります。



分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

分解禁止



内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 本機(イヤホン)、もしくはイヤーピースの穴に水滴が付着している場合は、水滴を拭き取ってから充電してください。
- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



本機（イヤホン）は、乳幼児やペットの手の届くところに置かない

ご使用後は、充電ケースに入れてふたを閉め、乳幼児やペットの手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときには、すぐに医師にご相談ください。



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で本機を使わない

事故の原因になります。

踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。



本機（イヤホン）を使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠ 警告



航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う、もしくはご利用の航空会社へ使用条件を確認する

電波が影響を及ぼし誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では使用しない（手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない）

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 程度以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意



イヤーピースは本機（イヤホン）にしっかりと取り付ける
はずれて耳に残ると、けがや病気の原因になることがあります。



本機（イヤホン）の接続前に音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。



本機やUSB充電ケーブルの上に重い物を載せたり、乗ったりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースやコードのプラグが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。

火災の原因になることがあります。

また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますので、ご注意ください。



本機が直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない

本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。



本機（イヤホン）の温度に注意する

本機の充電中および充電直後は温度が高くなることがありますのでご注意ください。

取り出し後すぐに温度が高い状態で装着すると、お客様の体質、体調によっては、肌の赤みやかゆみ、かぶれなどの原因になることがあります。

製品廃棄時の安全上のご注意は、「廃棄するときのお願い」(→ 33)をお読みください。

[重要]イヤホンの防滴について

イヤホンは、JIS C 0920(IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級(IP コード)」の IPX4 相当の防滴仕様であり、完全防水仕様ではありません。

■ IPX4(水の飛まつに対する保護等級)について

常温の水道水にて、イヤホンから約 20 cm 離れて、あらゆる方向から約 1.8 L/ 分の水を 10 分間ノズル散水したあと、イヤホンが動作することに対応しています。

充電ケース、付属の USB 充電ケーブルは、防滴仕様ではありません。

※ すべての条件での防滴を保証するものではありません。

■ むれの可能性のある場所(水しぶき、雨など)での使用時のお願い

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。

- 手がぬれた状態や本機(イヤホン、充電ケース)に水滴が付いたままで充電ケースの充電や、イヤホンの充電をしない
- USB 充電ケーブルを使用しない
- 石けん水や洗剤をかけたり、水の中に沈めたりしない
- 寒冷地で、水滴が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふく
- イヤホンやマイクに水が付着した場合は、乾いた柔らかい布でふく
 - 音が小さくなったり、歪むことがあります。
 - イヤーピースの穴の中に水滴が残っていると、音が小さく聴こえたり、音が聴こえなくなったりすることがあります。その際にはイヤーピースを取り外して水滴を取り除いてください。

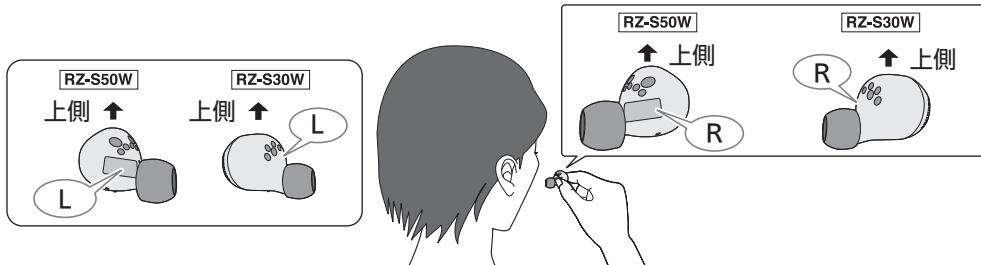
万一、イヤホンまたは充電ケースに水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

装着のしかた

十分なノイズキャンセリングの効果([RZ-S50W]のみ)および音響特性を得るために、イヤホンを正しく装着してください。イヤーピースは左右それぞれ耳の孔に合うサイズの専用イヤーピースを選んで装着してください。

イヤホンの装着方法

1 イヤホンの向き(上、下)と、L(左)、R(右)を確認する



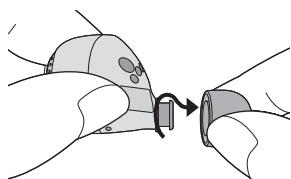
2 イヤホンを左右に少しづつ回転させながら、しっかりと装着する



- 装着後、イヤホンが耳から落ちないか確認してください。
- 左側のイヤホンには、突起部(L側認識凸)があります。
- イヤホンが落ちやすい場合は、別のサイズのイヤーピース(付属)に交換してください。
イヤーピースの取り外し方、取り付け方については、下記の「イヤーピースを選ぶ」をお読みください。

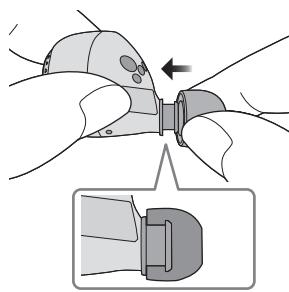
イヤーピースを選ぶ

イヤーピースの取り外し方



- イヤーピースをつかみ、軽くひねるように引き抜いてください。

イヤーピースの取り付け方

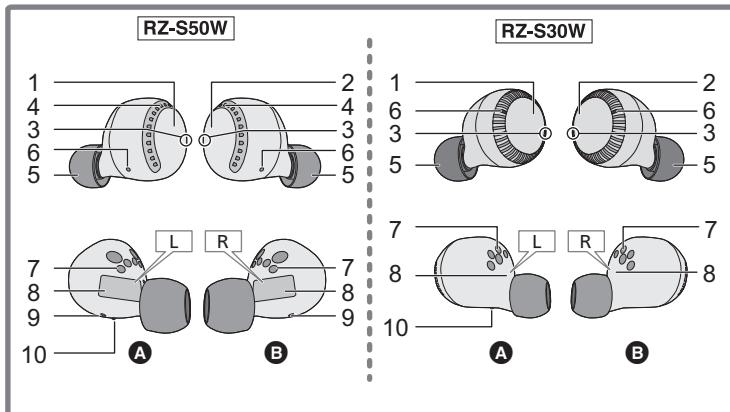


- しっかりと奥まで取り付け、イヤーピースが斜めになっていないか確認してください。

各部のなまえ

本体(イヤホン)

(本文中ではイヤホンと表記します)



A L側イヤホン(左)

B R側イヤホン(右)

- | | |
|--|------------------------|
| 1 タッチセンサー(L)(左) | 5 イヤーピース |
| 2 タッチセンサー(R)(右) | 6 通話マイク |
| ●タッチすることで、さまざまな操作ができます。
(→ 21、「タッチセンサーで操作する」) | 7 充電端子 |
| 3 イヤホンLED※1,3 | 8 L側(左)/R側(右)表示 |
| 4 [RZ-S50W] ノイズキャンセリング用マイク | 9 [RZ-S50W] ドライバー背面ポート |
| | 10 L側認識凸 |

※1 イヤホンLEDの点灯・点滅の一例

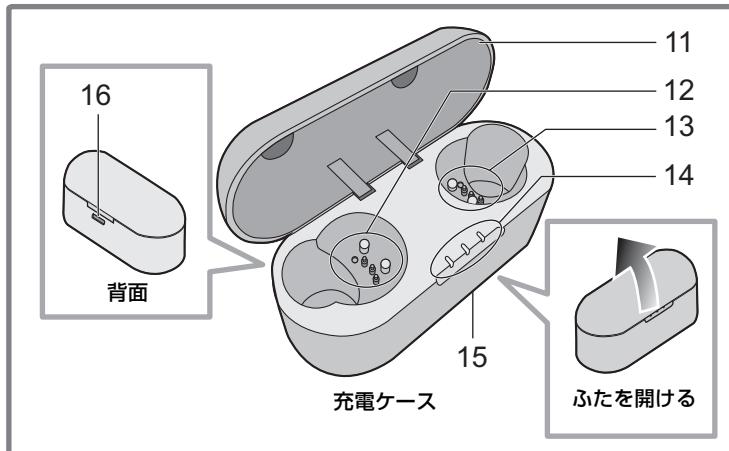
両方のイヤホンLED(LとR)が 交互に青と赤で点滅	Bluetooth® のペアリング(登録)待機時
ゆっくり点滅(青)※2	Bluetooth® の接続待機時
約5秒間隔で2回点滅(青)※2	Bluetooth® の接続時(音楽再生時 / 通話時など)
点滅(青)※2	着信中

※2 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。(→ 14、「電池残量のお知らせ」)

※3 充電中の点灯・点滅については 13 ページをお読みください。

本体(充電ケース)

(本文中では充電ケースと表記します)



11 充電ケースふた

12 端子部(L側イヤホン用)

13 端子部(R側イヤホン用)

- 端子部に素手で触れないでください。

14 充電ケース LED^{※4}

15 定格ラベル(充電ケース底面)

- 製品番号は定格ラベルに記載されています。

16 充電端子

- 充電時に、USB充電ケーブル(付属)を接続します。
(→ 13、「充電する」)

※4 充電中の点灯・点滅については 13 ページをお読みください。

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

--- DC(直流)

充電する

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

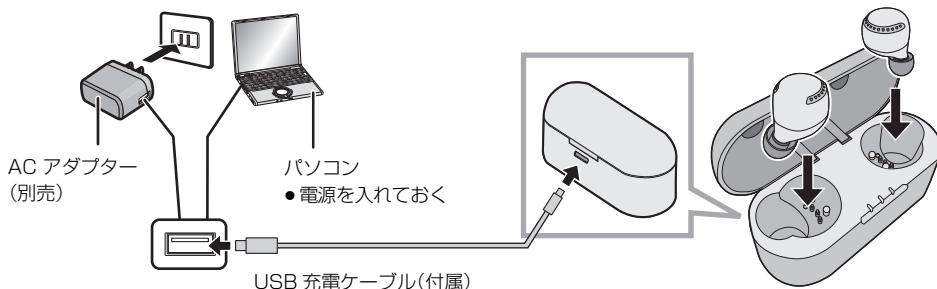
- イヤホン、充電ケースの端子部にほこりや水滴が付いている場合は、正しく充電できません。ほこりや水滴を取り除いてから充電してください。

お知らせ

- 室温が 10 °C から 35 °C のときに、充電できます。
- 充電中は、イヤホンの電源を入れることや Bluetooth® 機器に接続することはできません。

USB 充電ケーブル(付属)を使ってイヤホン、充電ケースを充電する

イヤホンを充電ケースに入れていないときは、充電ケースのみを充電します。



1 USB充電ケーブルで、充電ケースをパソコン、またはACアダプター(別売:DMW-AC9)に接続する

- 充電ケースの充電が始まります。充電ケースの充電中は充電ケースLED(白)が点灯または点滅します。消灯すると充電完了です。
- USB充電ケーブルは端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差してください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)

2 イヤホンを充電ケースに入れる

- イヤホンの L側、R側を確認し、充電ケースの端子部とイヤホンの充電端子の位置を合わせてください。
(位置が合わないとイヤホンの充電が始まいません)
- イヤホンをお使いの状況により、充電ケースに入れたときのイヤホン LED の点灯のしかたが異なります。

イヤホンをお使いの状況	イヤホン LED の点灯のしかた
初めて充電するとき (お買い上げ時)	イヤホンを充電ケースに入れて、約 5 秒後にイヤホン LED(赤)が点灯します。
2 回目以降に充電するとき (イヤホンに電池残量があるとき)	イヤホンを充電ケースに入れると、イヤホン LED(赤)が約 3 秒点灯して、いったん消灯します。約 5 秒後、イヤホン LED(赤)が再点灯します。 • イヤホン LED(赤)が再点灯しないときは、イヤホンが満充電になっています。
電池残量がなくなっているとき (イヤホンに電池残量が完全ないとき)	イヤホンを充電ケースに入れて、約 5 秒後にイヤホン LED(赤)が点灯します。

3 イヤホン LED(赤)が点灯していることを確認する(充電開始)

- イヤホンの充電中はイヤホン LED(赤)が点灯します。消灯すると充電完了です。
- 電池残量がない状態から満充電にするまでの時間
 - イヤホンのみ充電する場合には、約 2 時間かかります
 - 充電ケースのみ充電する場合には、約 2.5 時間かかります
 - イヤホンと充電ケースを同時に充電する場合には、約 4 時間かかります

お知らせ

- パソコンがスタンバイまたはスリープ状態になっていると、充電されないことがあります。
- 付属のUSB充電ケーブルまたは当社製ACアダプター(別売:DMW-AC9)以外は使わないでください。
故障の原因になります。
- 別売品の取扱説明書「安全上の注意」も併せてお読みください。

充電ケースでイヤホンを充電する

充電済の充電ケースのみでイヤホンを充電します。外出先など、電源のないところでもイヤホンを充電することができます。

- 充電ケースが満充電のとき、イヤホン約2回分の充電ができます。

1 イヤホンを充電ケースに入れる

- イヤホンLED(赤)が点灯します。点灯のしかたは13ページの手順2をご覧ください。

2 イヤホンLED(赤)が点灯していることを確認する(充電開始)

- イヤホンの充電中はイヤホンLED(赤)が点灯します。消灯すると充電完了です。
- 電池残量がない状態からイヤホンを満充電するには、約2時間かかります。

電池残量のお知らせ

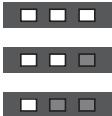
本機はLEDの点灯または点滅で電池残量をお知らせします。

■ イヤホン

イヤホン使用中に電池の残量が少なくなると、イヤホンLEDの点滅が青から赤に変わり、5分間に1回電子音が鳴ってお知らせします。残量がなくなると音声ガイダンスが流れ、自動的に電源が切れます。

■ 充電ケース

充電ケースふたを開けると、充電ケースLEDが点灯または点滅して電池残量をお知らせします。

充電ケースLEDの状態	電池残量の状態
3つ点灯  ↑ 1つ点灯	電池残量は十分にあります。 
	電池残量が少ない状態です。充電をお勧めします。

- 充電ケースLEDが1つ点滅しているときは、さらに電池残量が少なくなっています。充電してください。
- 充電ケースふたを開けても充電ケースLEDが点灯しないときは、電池残量がありません。充電してください。

イヤホンの電源を入れる／切る

■ イヤホンの電源を入れるには

充電ケースからイヤホンを取り出す

- イヤホンの電源が入ります。

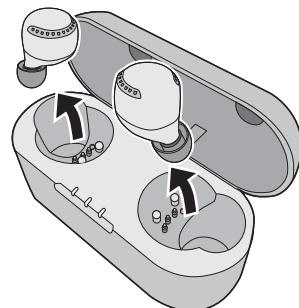
電子音が鳴り、イヤホン LED(青)* がゆっくりと点滅します。

* 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。

■ イヤホンの電源を切るには

イヤホンを充電ケースに入れる

- イヤホンをお使いの状況により、充電ケースに入れたときのイヤホンLEDの点灯のしかたが異なります。点灯のしかたは13 ページの手順2をご覧ください。



お知らせ

- イヤホンを使用中に、磁力を持ったものを近接させると、イヤホンの電源が「切」になる場合があります。その場合には、磁力を持ったものを遠ざけてください。

「Panasonic Audio Connect」アプリを使う

「Panasonic Audio Connect」アプリ(無料)をインストールしたスマートフォンとBluetooth® 接続をすると以下のようなさまざまな機能をお楽しみいただけます。

- ソフトウェアのアップデート
- 各種設定のカスタマイズ(接続モード設定 / オートパワーオフ設定 / 音声ガイダンス言語設定など)
- 「ヘッドホンを探す」機能
- 電池残量確認
- 本書へのアクセス

準備

- イヤホンの電源を入れる。

1 スマートフォンまたはタブレットに「Panasonic Audio Connect」アプリ(無料)をダウンロードする



Android:
Google Play



iOS:
App Store



2 「Panasonic Audio Connect」アプリを起動する

- 画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 「Panasonic Audio Connect」アプリは常に最新のバージョンでお使いください。
- 「Panasonic Audio Connect」アプリの操作方法や表示などは変更される場合があります。詳細についてはサポートサイトをご覧ください。

Bluetooth® 機器に接続する

準備

- イヤホンを充電ケースに入れておく。
- Bluetooth® 機器はイヤホンから約 1 m 以内に近づけておく。
- 必要に応じて、Bluetooth® 機器の取扱説明書で操作方法などを確認しておく。
- 「Panasonic Audio Connect」アプリ(無料)を使うと Bluetooth® の接続がかんたんに行えます。

イヤホンを Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する

1 充電ケースから両方のイヤホン(LとR)を取り出す

- 初めて機器を登録する場合：

接続する Bluetooth® 機器の検索を始め、イヤホン LED が交互に青と赤の点滅をします。

- 2 台目以降の機器を登録する場合：

イヤホンを取り出すとイヤホン LED(青)が点灯します。イヤホン LED(青)が点灯している間(約 3 秒)に、タッチセンター(LまたはR)を約 7 秒タッチしたままにすると、イヤホン LED が交互に青と赤の点滅になります。

2 Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能を有効にする

3 Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューから、

例) RZ-S50W



機器名「RZ-S50W」または「RZ-S30W」を選択する

- 「RZ-S50W」または「RZ-S30W」が表示される前に BD アドレス (Bluetooth® Device アドレス: 機器によって表示される固有の英数字) が表示される場合があります。
- パスキーの入力を要求された場合は、イヤホンのパスキー「0000」(ゼロ4つ) を入力してください。
- イヤホンLED(青)*が約5秒間隔で2回点滅すると、ペアリング(登録)完了し、接続状態になります。

* 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。

4 イヤホンと Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

お知らせ

- 5分以内に機器の接続が完了しなかったときは、イヤホンがペアリングモードを解除して接続待機状態になります。登録をやり直してください。
- イヤホンに登録できる Bluetooth® 機器は最大 10 台です。最大登録数を超えて登録すると上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

登録済みの Bluetooth® 機器と接続する

1 充電ケースからイヤホンを取り出す

- イヤホン LED(青)が点灯し、約 3 秒後にイヤホンの電源が入ります。
電子音が鳴り、イヤホン LED(青)* がゆっくりと点滅します。
※ 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。

2 「イヤホンを Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する」の手順 2、3 を行う

3 イヤホンと Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

お知らせ

- イヤホンは、最後に接続した機器を記憶しています。手順 1(→ 上記)のあとに自動接続する場合もあります。

音楽を聴く

Bluetooth® 対応機器が「A2DP」と「AVRCP」のBluetooth® プロファイル対応であれば、イヤホン側でリモコン操作して音楽再生などができます。

- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)：イヤホンに音を伝送します。
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)：イヤホン側でリモコン操作できます。

1 Bluetooth® 機器とイヤホンを接続する(→ 16、「Bluetooth® 機器に接続する」)

2 Bluetooth® 機器側で、聴きたい音楽や動画などを選んで再生する

- イヤホンから、再生した音楽や動画の音声が出力されます。
- 音楽再生時の操作方法について(→ 21、「タッチセンサーで操作する」)
- 再生時間は使用条件によって短くなる場合があります。

■ お願い

- 音量によってはイヤホンから音漏れしますので、お気をつけください。
- イヤホンの音量を最大近くまで上げると、音楽などがひずんで聴こえるときがあります。その場合は、ひざまずいて聴こえるまで音量を下げてください。

通話する

Bluetooth® 対応電話機(携帯電話、スマートフォンなど)が「HSP」または「HFP」のBluetooth® プロファイル対応であれば、イヤホン側で通話ができます。

- HSP(Headset Profile):

イヤホンでモノラル音声の受信と、マイクで音声の送信ができます。

- HFP(Hands-Free Profile):

HSP の機能に加え、通信の発信・着信機能を持っています。(イヤホンには発信機能はありません)

1 Bluetooth® 対応電話機とイヤホンを接続する(→ 16、「Bluetooth® 機器に接続する」)

2 イヤホン側でタッチセンサー(LまたはR)を1回タッチして、着信した電話を受ける

- 着信中、イヤホンから着信音が鳴り、イヤホン LED が点滅します。

- (HFPのみ)着信拒否するには、タッチセンサー(LまたはR)を約2秒タッチしたままにしてください。

3 通話する

- 通話中はイヤホン LED が2回ずつ繰り返し点滅します。

- 通話時も音量を調整できます。

設定方法について(→ 21、「タッチセンサーで操作する」)

4 イヤホンのタッチセンサー(LまたはR)を約2秒タッチしたままにして、通話を終了する

お知らせ

- Bluetooth® 対応電話機側でハンズフリー通話設定の操作などが必要な場合があります。
- Bluetooth® 対応電話機によっては、Bluetooth® 対応電話機側の着信音や呼出音がイヤホンから聴こえる場合もあります。
- イヤホンのマイクと機器側のアプリケーションを使うことによって、Bluetooth® 対応機器を発信させることができます。
(→ 20、「音声アシスタント機能を起動させる」)

外音コントロールを使う

外音コントロール機能はノイズキャンセリング(**RZ-S50W**のみ)とアンビエント(外音取り込み)を切り換える機能です。音質はそれぞれのモードで最良になるよう設定されています。

1 イヤホンを装着中にタッチセンサー(R)を約2秒タッチしたままにする

- ・長押しするたびに、モードを切り換えることができます。(切り換えたモードを音声ガイダンスでお知らせします)

RZ-S50W



- ・お買い上げ時のモードは「ノイズキャンセリング」に設定されています。

RZ-S30W



- ・お買い上げ時のモードは「外音コントロール オフ」に設定されています。

2 再生機器の音量を調整する

■ **RZ-S50W** ノイズキャンセリング

外から聞こえる音(ノイズ)を低減します。

- ・ノイズキャンセリングを使用中は、ノイズを低減する回路から僅かなノイズが聞こえる場合がありますが、故障などではなく、正常な状態です。(僅かなノイズは、静かな場所や曲間の無音時に聞こえる場合があります。)

■ アンビエント(外音取り込み)

外の音をマイクから取り込んで、イヤホンから再生します。イヤホンを外すことなく、周囲の音を聞くことができるで、電車の車内アナウンスなどを聞くことができます。

便利な機能

「Panasonic Audio Connect」アプリを使う

「Panasonic Audio Connect」アプリ(無料)をインストールしたスマートフォンと Bluetooth® 接続をすると、イヤホンの設定を変更したり、さまざまな機能をお楽しみいただけます。(→ 15)

音声アシスタント機能を起動させる

イヤホンのタッチセンサーを使って、Siri またはその他の音声アシスタント機能を起動させることができます。

1 Bluetooth® 機器とイヤホンを接続する(→ 16、「Bluetooth® 機器に接続する」)

2 タッチセンター(L)を約 2 秒タッチしたままにする

- Bluetooth® 機器の音声アシスタント機能が起動します。

お知らせ

• 音声アシスタント機能の音声コマンドの詳細については Bluetooth® 機器の取扱説明書をお読みください。

• スマートフォンの仕様やアプリケーションのバージョンによっては、音声アシスタント機能が働かない場合があります。

片方のイヤホンのみで使う

本機は、あらかじめペアリング(登録)しておくと、片方のイヤホンのみでも使うことができます。

例えば、左側イヤホンを充電ケースに入れたまま右側イヤホンだけを取り出すと、右側イヤホンはスマートフォンと接続されます。片方のイヤホンを充電しながら、もう片方のイヤホンで音楽を聴いたり通話することができます。
(→ 16、「Bluetooth® 機器に接続する」) 音声はモノラルです。

• 片方のイヤホンのみで使用しているときにもう片方のイヤホンを充電ケースから取り出すと、イヤホン同士が自動的に無線接続され、両方での使用に切り換わります。音声はステレオになります。

タッチセンサーで操作する

イヤホンのタッチセンサーでイヤホンを操作したり、Bluetooth® 機器をリモコン操作したりできます。

- Bluetooth® 機器やアプリケーションによっては、イヤホンのタッチセンサーを操作しても、一部の機能が動作しない場合や、下記とは異なる動作をする場合があります。

■ タッチセンサーの操作一覧

動作		タッチセンサー(L)	タッチセンサー(R)
音楽を聴く	再生／一時停止	1回タッチ	1回タッチ
	音量を上げる	素早く3回タッチ	—
	音量を下げる	素早く2回タッチ	—
	曲送り	—	素早く2回タッチ
	曲戻し	—	素早く3回タッチ
通話する	電話を受ける	着信中に、1回タッチ	着信中に、1回タッチ
	着信拒否する	着信中に、約2秒タッチ	着信中に、約2秒タッチ
	通話を終了する	通話中に、約2秒タッチ	通話中に、約2秒タッチ
外音コントロールを切り換える		—	約2秒タッチ
音声アシスタントを起動する		約2秒タッチ	—
Bluetooth® のペアリングモード*にする		(→ 16、「Bluetooth® 機器に接続する」)	
工場出荷設定に戻す		(→ 22、「工場出荷設定に戻す」)	

* 両方のイヤホン LED(LとR)が交互に青と赤の点滅をしている状態

お知らせ

- 片方のイヤホンのみで使う場合は、使う側のイヤホンで行う操作のみ可能です。
- 音量を最大または最小の段階までタッチすると電子音が鳴ってお知らせします。

工場出荷設定に戻す

イヤホン内の登録機器情報をすべて消去したいときなどに、工場出荷設定(お買い上げ時の状態)に戻すことができます。イヤホンを工場出荷設定に戻す前に、イヤホンを充電してください。

- 1 充電ケースからR側イヤホンを取り出す**
- 2 イヤホンLED(青)が点灯している間に、タッチセンサー(R)を約7秒タッチしたままにする**
 - イヤホンLEDが交互に青と赤の点滅になります。
- 3 タッチセンサー(R)を約10秒タッチしたままにする**
 - イヤホンLED(青)が高速点滅し、電源が切れると、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 4 L側イヤホンも同様に上記の手順1～3を行う**

お知らせ

- Bluetooth®機器をイヤホンに再度登録するためには、その機器側で登録情報(機器名:RZ-S50WまたはRZ-S30W)を消去してから、再度Bluetooth®機器にイヤホンを登録してください。(→16)

使用上のお願い

ご使用について

■ 使用、保管場所について

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所に置かない。
- ほこりの多い場所に置かない。
- 振動の多い場所に置かない。
- 風呂場など、湿気の多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 充電時や保管時は充電ケースのふたを閉じてください。
- イヤーピースは誤飲防止のため、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

■ 取り扱いについて

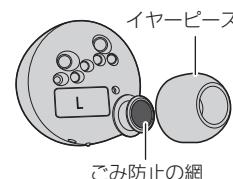
- 落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 水、洗剤で洗わないでください。(イヤーピース除く)
- 充電ケースのふたは無理に開けないでください。

■ 音量について

- 駆音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

■ イヤホンを清潔に保ってください

- ご使用後は、イヤーピースに耳あかやごみなどが付いていないことを確かめてください。耳あかやごみなどが付いているときは、イヤホンからイヤーピースを取り外して、清掃してください。(→27、「イヤーピースの清掃について」)
 - イヤホンにイヤーピースを取り付けたまま清掃すると、イヤホン本体のごみ防止の網を破損するおそれがあります。
 - イヤホン本体のごみ防止の網に付着した耳あかやごみなどは、息を吹きかけるなどして取り除いてください。綿棒などで取り除くと、ごみ防止の網が詰まり、故障の原因になることがあります。
 - イヤホン本体に整髪料・化粧品などが付いたときは、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。(音響特性に影響するため、ごみ防止の網は触らないようにしてください)
 - ごみの付着などからイヤホン本体を保護するために、充電ケースに収納して保管してください。



■ 耳あなを清潔に保ってください

- イヤーピースの耳あな部分に、耳あかやごみなどの異物が付着していると、音が小さくなったり音響特性が変わること、故障の原因になることがあります。

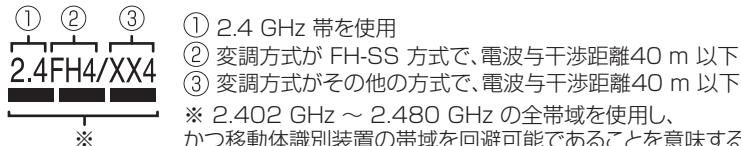
使用上のお願い(続き)

Bluetooth®について

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた



Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーテーションの設置など)についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： パナソニック株式会社
 DIGA(ディーガ)・オーディオご相談窓口
 (付属の取扱説明書 裏面)

■ 機器認定

本機を分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けています必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であっても、機器の仕様や設定により接続できないことがあります。操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 技適マーク表示

本機(イヤホン)の技適マーク表示は、以下の通りです。

RZ-S50W



[R] 001-A16254

左用認証番号

[R] 001-A16255

右用認証番号

RZ-S30W



[R] 001-A16256

左用認証番号

[R] 001-A16257

右用認証番号

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - 電子レンジ
 - デジタルコードレス電話機
 - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く(ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

- 本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途[※]での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。
- ※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、直接生命・身体に重大な危険性を伴う制御において、きわめて高度な安全性が要求される用途のことをいいます。
- 例:原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
Bluetooth® 機器と接続されない	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンに登録できる Bluetooth® 機器は最大 10 台です。最大登録数を超えて登録すると上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。 Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューなどから本機登録情報をいったん消去し、登録をやり直してください。(→ 16)
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンと Bluetooth® 機器の接続ができているか確認してください。(→ 16) Bluetooth® 機器側で音楽が再生されているか確認してください。 イヤホンの電源が入っているか、音量が小さすぎないか確認してください。 イヤホンと Bluetooth® 機器を機器登録／接続し直してください。(→ 16) Bluetooth® 機器側が「A2DP」プロファイルに対応しているか、確認してください。 プロファイルについては「音楽を聞く」(→ 17) をご参照ください。 詳しくは、Bluetooth® 対応機器の取扱説明書をご覧ください。
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンや Bluetooth® 機器を手のひらで覆ったりしていませんか。通信が遮断されて、音が途切れことがあります。
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth® 通信使用可能距離(約 10 m)を超えていませんか。イヤホンと Bluetooth® 機器を近づけてください。
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンと Bluetooth® 機器の間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。 使用していない無線 LAN 機器の電源を切ってください。
通話できない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth® 機器側が「HSP」または「HFP」プロファイルに対応しているか確認してください。 プロファイルについては「音楽を聞く」(→ 17) や「通話する」(→ 18) をご参照ください。また、Bluetooth® 対応電話機の取扱説明書もご覧ください。 Bluetooth® 対応電話機の音声設定を確認して、本機で通話する設定になっていない場合は、設定を切り替えてください。(→ 16)
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンの音量だけでなく、Bluetooth® 機器の音量も上げてください。 イヤホンのイヤーピースに耳あかやごみなどが付いていませんか。 イヤーピースを本体から取り外し、「イヤホンを清潔に保ってください」(→ 22) を参照にして清掃してください。
通話相手の声が小さい	
左右で電池の減りかたが異なる	<ul style="list-style-type: none"> 電波状況や使用状況により、左右で異なる場合があります。

症状	原因と対応のしかた
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> USB充電ケーブルがパソコン、またはACアダプター(別売:DMW-AC9)のUSB端子にしっかりと接続されていますか。(→ 13) イヤホンが充電ケースに正しく挿入されていますか。(→ 13) イヤホンを充電ケースに入れても、イヤホンLEDが点灯しない場合は充電ケースの電池残量がありません。まず充電ケースを充電してください。 室温は10°Cから35°Cで充電してください。 パソコンの電源が入っていることを確認してください。スタンバイまたはスリープ状態になっていると、充電されません。 USBポートは正常ですか。お使いのパソコンに他のUSBポートがある場合は、他のUSBポートをお試しください。 上記の操作をしても、充電されない場合は、USB充電ケーブルを抜いて、再度差し込んでください。 満充電状態ではありませんか。満充電状態の場合には充電ケースLEDはすぐに消えます。 充電時間と動作時間が短くなった場合は、イヤホンおよび充電ケース内蔵の電池が消耗している可能性があります。(内蔵電池の充電回数:それぞれ約500回)
充電中にイヤホンまたは充電ケースが温かい	<ul style="list-style-type: none"> 充電中はイヤホンまたは充電ケースが温くなる場合がありますが、異常ではありません。
イヤホンを操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入／切してください。(→ 15)
イヤホンの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 一度充電ケースに入れて、イヤホンLED(赤)が点灯したあと、取り出してみてください。
充電ケースのふたを開けても充電ケースLEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池の残量がない状態です。USB充電ケーブル(付属)を使って充電してください。(→ 13) 充電ケースからイヤホンを取り出し、USB充電ケーブルを抜いてから、ふたを閉めて3分間放置してください。その後、充電ケースのふたを開けて、電源が入ることを確認してください。

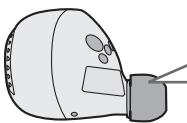
お手入れ

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
 - イヤホンからイヤーピースを取り外して、耳あかやごみなどを取り除いてください。
 - イヤホンにイヤーピースを取り付けたまま清掃すると、イヤホン本体のごみ防止の網を破損するおそれがあります。
(音響特性に影響するため、ごみ防止の網は触らないようにしてください)
 - 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装が変質したり、塗装がはげるおそれがあるので使用しないでください。
 - 充電端子に付いたほこりなどは乾いた柔らかい布でふきとってください。先のとがったものは使用しないでください。
- 電池性能の維持
 - 長期間使用しない場合は、本体内蔵の電池の性能維持のため、6か月に1回は満充電してください。
- イヤーピースは長期間ご使用すると消耗します。イヤーピースの交換はお買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。(→ 付属の「取扱説明書」裏面)

イヤーピースの清掃について

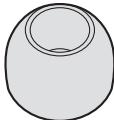
快適にご使用いただくためには、定期的なお手入れが必要です。

イヤーピースの耳あな部分に、耳あかやごみなどの異物が付着していると、音が小さくなったり音響特性が変わること、故障の原因になることがあります。



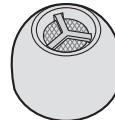
イヤーピースの形状を確認して、
下記の**A**、**B**よりお選びください

A スポンジがないタイプ



(→ 28、「**A** スポンジがないタイプ」)

B スポンジが入っているタイプ

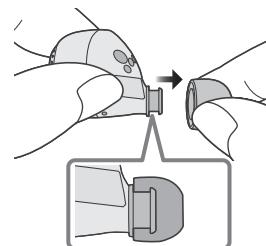


(→ 29、「**B** スポンジが入っているタイプ」)

A スポンジがないタイプ

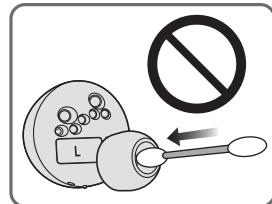
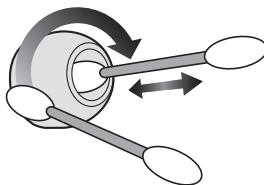
1 イヤーピースを取り外します

- イヤーピースをつかみ、軽くひねるように引き抜いてください。
- イヤホンにイヤーピースを取り付けたまま清掃すると、イヤホン本体のごみ防止の網を破損するおそれがあります。



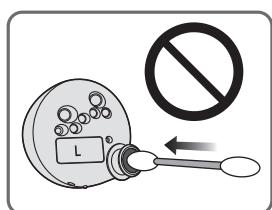
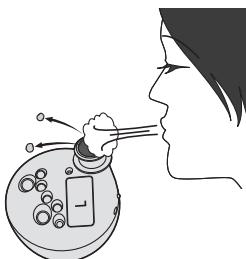
2 イヤーピースは綿棒などを使って内側、外側を丁寧に拭いて異物を取り除いてください

- 定期的に薄めた中性洗剤で手洗いをし、洗浄後は水気をよく拭き取ってください。
(→ 30、「汚れがひどいときは」)
- イヤホンにイヤーピースを取り付けたまま清掃すると、イヤホン本体のごみ防止の網を破損するおそれがあります。



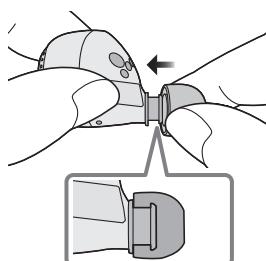
3 イヤホン本体のごみ防止の網に付着した耳あかやごみなどは、息を吹きかけるなどして取り除いてください

- イヤホン本体に整髪料・化粧品が付いたときは、すみやかに乾いたやわらかい布でふき取ってください。(音響特性に影響するため、ごみ防止の網は触らないようにしてください)
- 綿棒などで取り除くと、ごみ防止の網が詰まり、故障の原因になることがあります。



4 イヤーピースを取り付けます

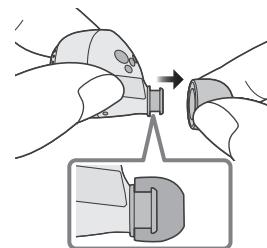
- しっかりと奥まで取り付け、イヤーピースが斜めになっていないか確認してください。
- ごみの付着などからイヤホン本体を保護するために、充電ケースに収納して保管してください。



B スポンジが入っているタイプ

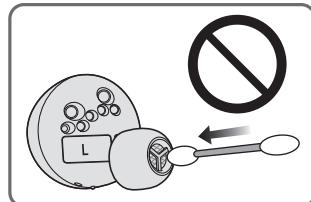
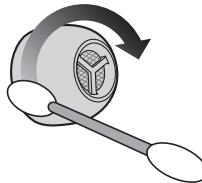
1 イヤーピースを取り外します

- イヤーピースをつかみ、軽くひねるように引き抜いてください。
- イヤホンにイヤーピースを取り付けたまま清掃すると、イヤホン本体のごみ防止の網を破損するおそれがあります。



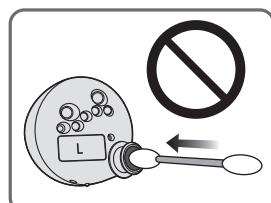
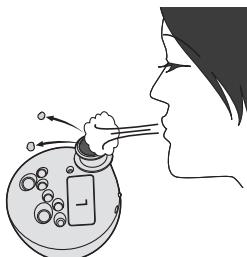
2 イヤーピースは綿棒などを使って外側を丁寧に拭いて異物を取り除いてください

- 定期的に薄めた中性洗剤で手洗いをし、洗浄後は水気をよく拭き取ってください。
(→ 30、「汚れがひどいときは」)
- イヤホンにイヤーピースを取り付けたまま清掃すると、イヤホン本体のごみ防止の網を破損するおそれがあります。



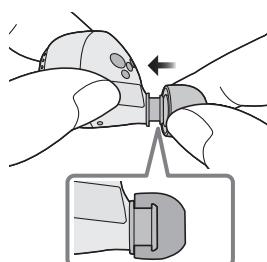
3 イヤホン本体のごみ防止の網に付着した耳あかやごみなどは、息を吹きかけるなどして取り除いてください

- イヤホン本体に整髪料・化粧品が付いたときは、すみやかに乾いたやわらかい布でふき取ってください。(音響特性に影響するため、ごみ防止の網は触らないようにしてください)
- 綿棒などで取り除くと、ごみ防止の網が詰まり、故障の原因になることがあります。



4 イヤーピースを取り付けます

- しっかりと奥まで取り付け、イヤーピースが斜めになっていないか確認してください。
- ごみの付着などからイヤホン本体を保護するために、充電ケースに収納して保管してください。

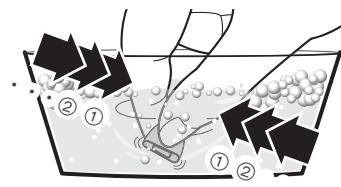
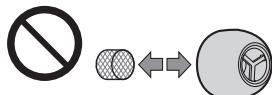


■汚れがひどいときは

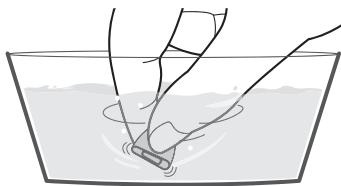
1 イヤーピースをつまみ洗いしてください

(薄めた中性洗剤やぬるま湯を使うと効果的です)

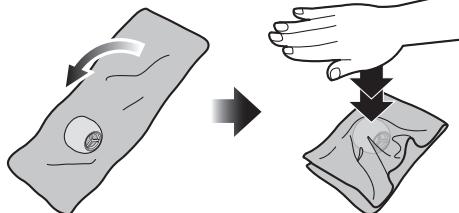
- イヤーピースからスポンジは外さないでください。



2 洗浄後はきれいな水でよくすすぎます



3 乾いたやわらかい布ではさみ、イヤーピースを 3～5回ほどしっかりと押しつぶすようにして 水気を取り除きます



著作権など

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Apple、Apple ロゴ、Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Google、Android、Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

この製品には、GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェアを使用しています。上記に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、下記 URL をご参照ください。

<https://www.panasonic.com/jp/support/consumer/digital/headphone.html>

仕様

■ 総合

電源（充電ケース） DC 5 V、500 mA

内蔵電池
イヤホン 3.7 V、リチウムポリマー

充電ケース 3.7 V、リチウムポリマー

再生時間（イヤホン単体）^{※1}

RZ-S50W 約 6.5 時間（ノイズキャンセリング ON、AAC）

RZ-S50W 約 7.5 時間（ノイズキャンセリング OFF、AAC）

RZ-S50W 約 6 時間（ノイズキャンセリング ON、SBC）

RZ-S50W 約 7 時間（ノイズキャンセリング OFF、SBC）

RZ-S30W 約 7.5 時間（AAC）

RZ-S30W 約 7 時間（SBC）

短時間充電時再生時間^{※1}

15 分充電、

RZ-S50W 約 70 分再生（ノイズキャンセリング ON、AAC）

RZ-S50W 約 80 分再生（ノイズキャンセリング OFF、AAC）

RZ-S50W 約 60 分再生（ノイズキャンセリング ON、SBC）

RZ-S50W 約 70 分再生（ノイズキャンセリング OFF、SBC）

RZ-S30W 約 90 分再生（AAC）

RZ-S30W 約 80 分再生（SBC）

再生時間（充電ケース含む）^{※1}

RZ-S50W 約 19.5 時間（ノイズキャンセリング ON、AAC）

RZ-S50W 約 22.5 時間（ノイズキャンセリング OFF、AAC）

RZ-S50W 約 18 時間（ノイズキャンセリング ON、SBC）

RZ-S50W 約 21 時間（ノイズキャンセリング OFF、SBC）

RZ-S30W 約 30 時間（AAC）

RZ-S30W 約 28 時間（SBC）

待ち受け時間（イヤホン単体）^{※1}

RZ-S50W 約 7.5 時間
(ノイズキャンセリング ON)

RZ-S50W 約 12 時間
(ノイズキャンセリング OFF) オートパワーオフなし

RZ-S30W 約 24 時間
オートパワーオフなし

充電時間^{※2}（25 ℃）

イヤホン 約 2 時間

充電ケース 約 2.5 時間

イヤホン + 充電ケース（同時充電） 約 4 時間

充電推奨温度範囲 10 ℃ ~ 35 ℃

使用温度範囲 0 ℃ ~ 40 ℃

使用湿度範囲 35 %RH ~ 80 %RH(結露なきこと)

■ 質量

イヤホン

RZ-S50W 約 7 g(片側のみ:LR 同値)

RZ-S30W 約 4 g(片側のみ:LR 同値)

充電ケース

約 45 g

■ Bluetooth[®] 部

Bluetooth[®] バージョン

Ver. 5.0

送信出力

Class 1

通信方式

2.4 GHz band FHSS

対応プロファイル

A2DP、AVRCP、HSP、HFP

対応コーデック

SBC、AAC

通信距離

最長約 10 m

対応コンテンツ保護

SCMS-T 方式

■ イヤホン部

ドライバユニット

RZ-S50W 直径 8 mm

RZ-S30W 直径 6 mm

マイクロフォン

モノラル、MEMS マイク

■ 充電ケース

充電端子

USB Type-C 形状

■ 付属品

USB 充電ケーブル

約 0.5 m (入力:USB A 形状、出力:Type-C 形状)

イヤーピース

RZ-S50W S、M、L、XL 各 2 個 (M はイヤホンに装着)

RZ-S30W XS、S、M、L 各 2 個 (M はイヤホンに装着)

■ 防水性能

IPX4 相当 (イヤホン部のみ)

※1 使用条件によって短くなる場合があります。

※2 電池残量がない状態から満充電にかかる時間です。

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

廃棄するときのお願い

内蔵している電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

本機の廃棄に際しては、一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄せず、お住まいの市区町村の条例に従ってください。

⚠ 危険



本機専用の電池のため、本機以外に使用しない

- 電池を取り出して、充電しないでください。
- 火への投入、加熱をしないでください。
- くぎで刺したり、衝撃を与えたたり、分解・改造をしないでください。
- 火のそばや炎天下など高温の場所に放置しないでください。
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水中への投入をしないでください。

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告



電池残量がなくなってから廃棄する

製品廃棄後に、発熱・発火・破裂を起こす原因となります。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。

- 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になります。

- きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 00

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒 525-8520 滋賀県草津市野路東 2 丁目 3 番 1-1 号

© Panasonic Corporation 2020

PNQP1546WA
F0320MH4051